

# 町村週報

(町村の購読料は会費)  
の中に含まれております)

## 2724号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955

発行人 山中昭栄：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697

<http://www.zck.or.jp>

あじさい農道 (神奈川県開成町)



も く じ	
随 情	活 活
想 報	政 活
	フ ォ 活
	オ ー ラ ム
	策 動
	動 動
「斜陽」のルーツ……………	高年齢者医療制度改革に関する意見・口蹄疫対策に関する要請Ⅱ全国町村会……………(2)
町村Navi……………	子ども・子育て新システムで齋藤行政部会長が意見陳述……………(4)
子どもが輝き 子育てが楽しい 心ふれあつまちをめざしてⅡ静岡県長泉町……………(8)	「買利物弱者」が600万人に―官民連携による支援を―Ⅱ経済産業省研究会が報告書……………(5)
滋賀県町村会長 愛荘町長 村西 俊雄……………(12)	

### 閑話休題

## 無縁社会の避難所

ジャーナリスト 松本 克夫

常識がないといわれそうだが、特殊清掃という業種があることを最近になって知った。NHKが放送した「無縁社会」シリーズで教えられたのである。特殊清掃は、孤死などがあつた家の消毒、消臭、原状回復をし、遺品を整理する仕事である。身寄りのない人ならともかく、身寄りがあつても、業者任せにする例が増えているから、この業界は相当な規模になっているらしい。地縁、血縁、会社を通じての社縁が切れて、無縁化した人がいかに多いかを示している。

皮肉なことに、縁が薄れた社会ほど、新事業が生まれる。昔は、結婚式や葬式も親せきや集落の手づくりでやっていたが、今はほとんどビジネス化した。専門業者が仕切る冠婚葬祭はどうしても擬い物感が漂うが、もつ擬い物が主流になってしまった。昔のように、仲人を買って出る人がいなくなつたと思つたら、婚活ビジネスが登場した。孤独死の後始末がビジネス化しても、不思議はない。

携帯電話が普及し、ネットで簡単につながるというのに、孤独な人は増えた。世の中、経済成長願望はなお根強いが、気をつけた方がいい。結いやもやいの伝統が消え、ビジネスに置き換わるだけかもしれない。無縁化がビジネスを生み、ビジネスが無縁化を促す。政治学者のロバート・パットナムの『孤独なボウリング』によれば、米国でも「コミュニティが衰退し、孤独な人間が増えている。無縁化は近代文明が抱えた持病に見える。

無縁社会化が進む中では、顔見知りばかりの町村のような有縁社会は稀少価値である。鳥取県智頭町は「疎開のまち」を目指している。戦時中に、戦災からの避難者を受け入れたように、都会の競争社会で心が病んだ人たちを受け入れるのだという。もう少し広げ、無縁化した人も受け入れて、有縁社会で癒すのはどうか。町村は無縁社会の避難所になる。避難者は多少なりとも町村の助っ人になる。そんなうまい共存は考えられないか。

●写真募集●  
本誌表紙に掲載の写真を募集しています。四季折々の風物や行事など適当な写真がありましたらご寄贈下さい。(写真には題名、町村名を付して下さい)  
なお、採否は当方に一任願います。送り先：全国町村会・広報部

全国町村会

高齢者医療制度改革に関する意見

□ 蹄疫対策に関する要請

政府・与党に役員が実行運動を展開

全国町村会（会長・藤原忠彦長野県川上村長）は、6月18日、常任理事会を開催し、「高齢者医療制度改革に関する意見」と「□蹄疫対策に関する要請」を決定、会議終了後、役員が政府・与党など関係先に要請した。



△長浜厚生労働副大臣（中央）に要請する藤原会長（左から二人目）、古木副会長（左）、齋藤行政部会長（右）



△水田厚生労働事務次官（右）に要請

高齢者医療制度改革で意見書

「高齢者医療制度改革に関する意見」は、厚生労働省が検討している新たな高齢者医療制度について、国保の負担増とならない制度設計を行うとともに、都道府県が運営責任を担うことなどを求める内容。会議終了後、藤原忠彦会長（長野県川上村長）、古木哲夫副会長（山口県和木町長）、齋藤正寧政務調査委員・行政部会長（秋田県井川町長）が同省の長浜博行副大臣、水田邦雄事務次官などに対し、要請活動を行った。

高齢者医療制度改革に関する意見

新たな高齢者医療制度の創設にあたっては、国民に不安や混乱を

与えることなく、幅広い理解と納得が得られる制度とするよう、性急に結論を出さず、慎重に検討すること。

また、国民健康保険の安定運営を確保するため、特に下記事項を実現すること。

記

1. 改革の基本的な方向性

現行制度創設の経緯と制度定着の現状を鑑み、現行制度の根幹は引き継ぐとともに、保険料負担は現行水準を維持すること。

また、国民皆保険制度の受け皿である国民健康保険を将来に亘って堅持するための国の責任を明確に示すこと。

2. 運営責任

都道府県単位の財政運営により保険料負担の公平化及び財政基盤の安定化を目指した現行制度の利点を引き継ぐとともに、制度運営の責任は都道府県が担うことを明確にした制度とすること。

3. 国保の負担増とならない制度設計

国民健康保険の負担増とならない制度設計を行うこと。

活 動

4. 市町村国保の広域化

保険料水準の格差解消を図りつ  
つ、市町村国保を都道府県単位に  
広域化し、制度運営の責任は都道  
府県が担うこと。

5. 準備期間の確保

新制度への移行にあたっては、  
システム改修等を含め、現場での  
混乱を避けるため十分な準備期間  
を確保すること。

口蹄疫対策で要請活動

「口蹄疫対策に関する要請」は、  
宮崎県で被害が広がる口蹄疫が地  
域経済に未曾有の影響を及ぼし、  
その長期化、深刻化が憂慮されて  
いることに鑑み、全国の町村が自  
主的に実施している畜産関係者へ  
の経営支援や防疫対策にかかった  
費用の全額国費負担などを求める  
内容となっている。

会議終了後、小沢信義副会長(崎  
玉県毛呂山町長)と荒木泰臣常任  
理事(熊本県嘉島町長)が、山根  
隆治民主党筆頭副幹事長と古川元  
久内閣官房副長官及び農林水産省  
幹部に対し、同要請の実現方を申  
し入れた。

口蹄疫対策に関する要請

10年ぶりに発生した口蹄疫につ  
いては、先般、時限法の口蹄疫対策  
特別措置法が施行されたものの、  
未だ終息の兆しが見えておらず、  
宮崎県の畜産農家や町村をはじめ  
とする関係者の必死の努力にもか  
かわらず、地域経済に及んだ未曾  
有の影響は、さらに長期化、深刻  
化することが憂慮されている。

また、感染経路の解明が全く進  
んでいないため、全国の畜産農家、  
関連事業者や町村においては、耐



▷山根民主党筆頭副幹事長(中央)に要請  
する小沢副会長(右)と荒木常任理事(左)

え難い不安と緊張感の中、地元の  
畜産業を守るため、自主的な防疫  
対策に懸命に取り組んでいる。

よって、国は、多くの町村の現  
場が切実な状況に置かれているこ  
とを真摯に受け止めることもに、  
口蹄疫は国家的な危機管理の観点  
から取り組む政策課題であること  
を認識の上、下記の事項を早急に  
実現するよう強く要請する。

記

1. 口蹄疫による被害を直接又は  
間接に受けた畜産農家や関連事業  
者の早期の経営再開等を支援する



▷古川内閣官房副長官(中央)に要請

措置や、農業者等のメンタル面の  
ケアを、スピード感を持って実施  
すること。

2. 全国の多くの町村が自主的に  
実施している畜産関係者への経営  
支援や防疫対策に要した経費につ  
いて、その全額を国が負担するこ  
と。

3. 口蹄疫は地域経済の存立を脅  
かすことから、恒久法の家畜伝染  
病予防法を早急に改正し、処理・  
消毒・損失補てんに要する経費の  
全額を国が負担する旨を規定する  
こと。

4. 感染経路について、近隣諸国  
にも対象範囲を広げて徹底的に解  
明するとともに、輸入稲わら・乾  
草等に付着した侵入を除去するた  
め、国産100%に向けた対策を  
確立すること。

5. 今回の多頭数感染に伴う埋却  
地の確保難等で不備が明らかに  
なった国のマニュアル(口蹄疫に  
関する特定家畜伝染病防疫指針  
(平成16年)を早急に見直し、畜  
産農家や町村への説明会を早期に  
実施すること。

子ども・子育て新システムの基本方向に関する意見交換会(第2回会合)

## 子ども・子育て新システムで

### 齋藤行政部会長が意見陳述

内閣府・泉大臣政務官主催による「子ども・子育て新システムの基本的方向に関する意見交換会」(第2回会合)が6月10日、内閣府で開催され、本会からは齋藤正寧(さいとう まさなり)政務調査委員・行政部会長(秋田県井川町長)が出席した。

今回の会合は4月27日に子ども・子育て新システム検討会議においてとりまとめた「子ども・子育て新システムの基本的方向」についての意見交換を行うことを目的とし、本会の他、全国知事会、全国市長会等が意見発表を行った。

齋藤行政部会長はじめに、新システムの目指す方向について、子育て支援の理念が強く出ていることを評価するとともに、町村が独自に取

り組んできた子育て支援にかかる事例を紹介し、子育て支援策を積極的に展開してきた町村の役割について触れた。



△意見交換会に出席した齋藤行政部会長

また、子ども手当については全額国庫負担とした上で、1万3千円の上積み分について、自治体が現金と現物給付の配分を決めることができるなどとする一部報道について触れ、現場での混乱が生じないように制度設計をすべきと主張した。

続いて、「基本的方向」において、「現金給付・現物給付の組合せ(配分)や給付メニューの設定(選択)」などの制度構築にあたっては、地域主権の点からも国の関与を最小限とする方向で検討すべきであり、その前提として「サービスを給付する際の財源がいかん確保できるか」が重要であるとし、財政面での国の責任を指摘した。

また、「幼保一体化」に関しては、現場に混乱を招かぬよう、慎重な議論が必要とし、人口が減少している小規模な自治体においては、幼稚園や保育所の運営が困難となっている実態に触れ、「(そうした地域では)子ども達が集団で成長する機会が奪われることにもなりかねない」と危機感を示し、「全国どこにいても、全ての子どもに質の高い保育を保障することが実現されるよう、また地域のニーズにあった運営が可能となるような制度構築」を強く要請した。

◆道州制と町村に関する研究会  
◆全国町村会

「平成の合併」の終わりと町村のこれから

全国町村会(会長・藤原忠彦長野県川上村長)の道州制と町村に関する研究会(座長・大森 彌東京大学名誉教授)は、このたび「平成の合併」の終わりと町村のこれから」を公表した。

「道州制と町村に関する研究会」は、道州制の導入が町村に及ぼす影響を様々な角度から検討するため、平成19年4月に発足、20年10月には「平成の合併」をめぐる実態と評価」をとりまとめた。

本報告書は3部構成で、第1部は研究会の活動経緯、第2部は事務執行の確保策等に関する全町村を対象にしたアンケート調査の結果概要、第3部は研究会委員の論考となっている。また、国や経済団体等の道州制に関する構想・議論の動向を簡潔に整理し、資料編として添付した。

全国の町村は、「平成の合併」を経て941に減少、依然として厳しい財政状況、過疎化、少子・高齢化の危機に直面している。本報告書をご一読いただき、町村がこの危機を乗り越えるために何が必要であるか、一考いただければ幸いである。

【お問い合わせ】

全国町村会行政部

電話03-3581-0483

## 政 策

## 政策解説

# 「買い物弱者」が600万人に

## —官民連携による支援を—

### 経済産業省研究会が報告書

経済産業省の「地域生活インフラを支える流通のあり方研究会」はこのたび、日常の買い物に不便や困難を感じている「買い物弱者」の数が全国で600万人に上るとする報告書を公表した。宅配や移動販売、交通手段の確保といった支援策を継続的に実施するため、地方自治体と民間企業やNPOなどが連携して取り組むよう提言している。

ただ、自治体が民間を支援する際には、補助金の支出や公共施設の使用をどのような条件でどこまで認めるかといった課題もある。そのため同省は関連する他省庁とも連携し、先行事例を集めたガイドラインを年度内にも取りまとめる考えだ。

#### 買い物は集客型から接客型に

買い物弱者は、身近な買い物ができる店舗が自宅近くから撤退したり、買い物に行くための移動手段が失われたりといったことが原因で発生する。食料品や日用品が買えなければ生活そのものの継続が難しくなるため「買い物難民」とも呼ばれる。少子高齢化を背景に、近年は山間地などの過疎地や郊外の独立したニュータウンなどでの発生が注目され、社会問題化している。

経産省では、店舗や公共交通機関、地域医療機関などの「生活インフラ」の弱体化が地域によって多様化、深

刻化しており、地方自治体だけでは対応が困難になってきていると分析。そのため、所管する流通業界と自治体が連携した持続可能なビジネスモデルの可能性を探ろうと、有識者や自治体幹部、大手の小売り・物流企業でつくる研究会を設置して議論を重ねてきた。

内閣府が2005年度に行った調査で、60歳以上の高齢者3000人に地域生活で不便を感じている点を聞いたところ、16・6%の人が「日常の買い物」を挙げた。この割合を09年度の全国の高齢者数3717万人に当てはめると617万人になることから、報告書では買い物弱者の数を約600万人と推計。少子高齢

化や過疎化の進行により、この数は将来的にさらに増えると予想している。

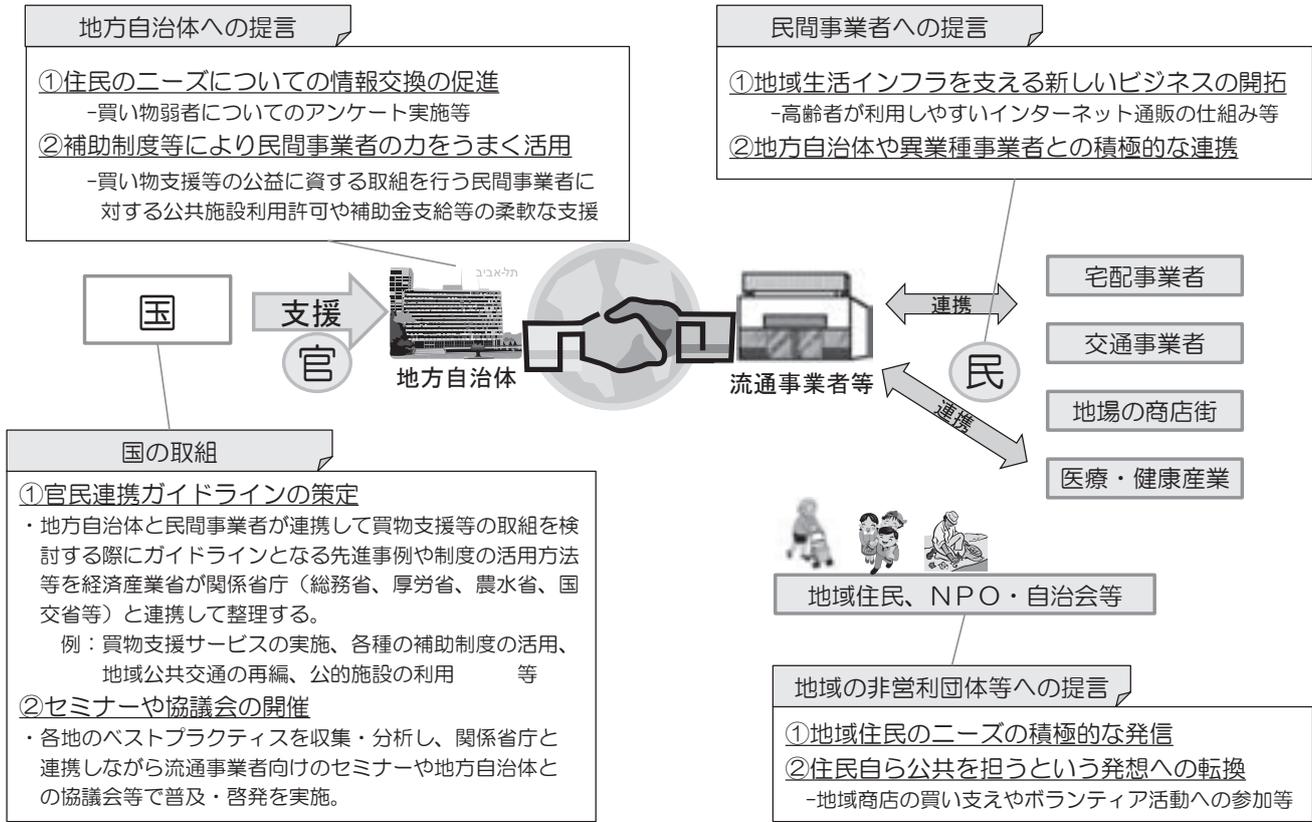
また、買い物弱者は特別な地域に限らず、どこでも身近に発生し得る問題で、実際の数は600万人よりも多いとの見方もある。例えば、住居がエレベーターのない建物の上層階にあれば、足を痛めただけで買い物には出にくくなり、たとえ店舗の多い街中に住んでいても、不便さに変わりはないかもしれない。

さらに、同研究会が実施したアンケート調査によると、買い物の際には高齢者になるほど、商品の安さや品質よりも店舗の近さや便利さを重視する傾向が見られた。こうしたことから報告書では、高齢化が進む中で将来的な買い物のあり方について、大型店に客を集める現在の「集客型」から、利用者に近づいていく「接客型」に変わってくると予測している。

#### パソコン普及で伸びる ネットスーパー

買い物弱者に対する具体的な支援策としては、注文を受けて商品を宅配する仕組みや自動車・集会所での移動販売といった「商品を届ける」

### 参考 地域生活インフラの再構築に向けて～新しい官民連携への提言～



まず、技術革新の例として典型的なのは、インターネットで注文を受け付けて食料品などを宅配する「ネットスーパー」。パソコンの普及に伴うインターネット人口の拡大で利用を急速に伸ばしており、市場規模は06年の約100億円から09年には約300億円となり、約3倍に拡大したとの試算もある。ネットスーパーには、高齢者を中心にパソコンを使えないと買い物できないという弱点もあるが、最近では自宅近くの集会所にタッチパネル入力式の端末を設置して注文を受ける仕組みも実用段階に入っているという。

やり方と、撤退する路線バスに替わるオンデマンドバスの運行など「移動手段を提供する」方式とが考えられる。しかし、どちらの場合でも地域住民に高いニーズがあっても採算性が確保できなければ民間事業者の参入は見込めず、継続的なサービス提供は困難になってしまう。

そのため研究会では、民間の取り組みが継続的に行われるための方策について、①IT（情報技術）の活用によるコスト削減など「技術革新」②NPOなどと連携した本業以外の地域貢献③補助金や公共施設の利用など自治体からの支援④の3種類に分けて整理した。

2番目の、本業以外の地域貢献の例としては、防犯の拠点として助けを求める駆け込みに対応したり、住民票の発行など行政サービスの一部を提供したりといったコンビニエンスストアの取り組みが挙げられる。多数の店舗が立地するコンビニの特長を生かすことで住民の安心や利便性が向上し、自治体から見ても低コストで行政サービスの向上が可能となる。端末の整備など一定のコストは掛かるものの、コンビニも集客効果が期待できるなど、すべての関係者にメリットがある仕組みとなっている。

また、利用者の希望に応じて時間やルートを設定できるオンデマンドバスも、採算が悪化する路線バスに替わって各地で導入が進んでいる。時間やルートが固定されている路線バスよりも運行の効率が良く、買い物に限らず通院や通学など幅広い生活のニーズに対応できるメリットがある。ただ、利用者から見ればまだまだ予約の手間が面倒だったり、運行側でも受付やルートの設定に人手を要したりといった課題もある。この点についてもコンピューターによる予約の自動化などが研究されており、更なる効率化が可能だとみられている。

政 策

自治体の支援、やはり不可欠

もつとも、技術革新による効率化や既存のコンビニ店舗の活用などが進んでも、少子高齢化が進んで利用者の数自体が減ってしまえば、事業者の採算性を確保するためのハードルはさらに高くなる。過疎地などで実際に行われている、店舗や路線バスの撤退を受けて代替手段を確保するための取り組みを見ても、現実的には自治体の支援が不可欠と言えよう。

報告書では、自治体の支援によって継続的な取り組みが可能になった地域の例として、三重県四日市市の生活バスや、高知県の移動販売車といった取り組みを紹介している。四日市市の場合、採算が悪化した路線バスが撤退した地域で、住民の足となる生活バスを運行するNPOに対し、同市が補助金を交付。生活バスは1日に100人の利用者があるが、運賃収入だけでは運営費が不足する。そのため、市からの補助金と、生活バス運行の恩恵を受ける近隣スーパーなどの企業からの協賛金とを併せて運行を続けている。

また、高知県は店舗の撤退が相次いでいる山間地域で買い物の機会を確保しようと、移動販売車を運営し

ているスーパーに対して車両の購入費を補助している。補助は、地域の高齢者の安否を確認する「見守り協定」を結ぶことが条件。民間企業の活動であっても、福祉と組み合わせることで補助金を投入できるようにした。この結果、移動販売車の業績が悪化して単独では運営困難になった際にも、活動を続けることができたという。

こうした現状を踏まえて報告書は、民間企業やNPOに対して、買い物をはじめとする地域の生活インフラを積極的に支えるよう要請。情報交換などを通じて地方自治体とも密に連携し、それぞれの長所を生かして買い物弱者らを支援するよう求めている。

また、地方自治体に対しても、アンケート調査などを実施して地域の買い物弱者の状況を的確に把握するとともに、民間の取り組みに対して柔軟に支援を行うよう提言。一人暮らしの高齢者の買い物を代行するサービスや、地元商店街での割引、スーパーと連携した軽トラックによる移動販売など、各地の取り組みを紹介している。

しかし、福祉の色が濃い取り組みであっても、企業やNPOに対する支援の扱いは自治体によって違いが

大きい。移動販売やオンデマンドバスへの補助を見ても、補助金を出す際の条件設定や、車両購入費はよくても運営費はだめといった支出の制限が見られる。また、住民に近く利用しやすい公民館での食料品販売といった公共施設の利用についても、営利目的だとして過度に厳しく制限している事例もあるという。

こうした「営利事業者への補助」をはじめとする課題を解決するため、報告書は国に対しても障害となるような制度の改正や、全国の先進事例の紹介などに取り組むよう求めた。これを受けて経済産業省では、年度内に先進事例を集めたガイドラインを策定する方針。総務、厚生労働、農林水産、国土交通といった関係省庁とも調整し、買い物支援や補助制度の活動方法、公共交通の再編、公的施設利用といった幅広い分野で具体例を集める。また、流通業者向けのセミナーや地方自治体との協議会なども開催する考えだ。

(時事通信社記者 田巻電介)

◎ 町村週報のご購読 ◎

「町村週報」の購読を希望される方は、はがき、FAXまたはEメール(kouhou@zsk.or.jp)にて、全国町村会広報部までお申し込み下さい。

季節の俳句カレンダー

ムンクの絵観し目も耳も青風

季節は「青風」。ムンクの作品は、好き嫌いが分かれるかもしれないが、それだけ激しく主張するものがある。作者も絵画を鑑賞して強烈な印象を持ったに違いない。

「青風」は緑濃い森林を抜けてくるやや激しい風で、「目」には緑を、「耳」には風に鳴る木々の音が激しく響いてくる。作者はムンクの作品を観て音さえも感じる大きな感動を受けたのではないか。

アカシアの花夕空に汀あり

山田 哲夫

季節は「アカシアの花」。いよいよ夏到来の頃、山に近い観光地では街路樹のアカシアにたくさんのかわいい白い花が房状に咲いて、観光客ばかりでなく、土地の人々の目をも癒してくれる。山を背景に枝垂れる白い花は、下五に超自然体で表現されたように、さざ波が立つ静かな浜辺の「汀」を中空に見ているようだ。

過ぎてゆく刻の斜めに竹落葉

牧石 剛明

季節は「竹落葉」。ほかの植物と違い、「竹の落葉」は夏。ちなみに「竹の秋」は春、「竹の春」は秋の季節で、普通とは逆であり季節変化の微妙さを感じさせる。

この句では「過ぎていく刻」と、「時」ではなく「刻」の字を使って作者の繊細な感覚を巧みに表現している。また、時間経過を「斜めに」と、感覚的に表現していることも考え合わせると、ますます一句の深さを感じる。

町村独自のまちづくり

現地レポート

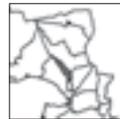
# 笑顔があふれるまち ながいずみ

## ～子どもが輝き 子育てが楽しい 心ふれあうまちをめざして～

▷放課後子ども教室「のびのびスマイル」  
毎週水曜の放課後は、子どもたちが学年をこえて仲間とふれ合う場です。



### なが いずみ ちょう 静岡県 長泉町



#### はじめに

長泉町は、静岡県の東部、伊豆半島の基部に位置し、東を三島市、西を沼津市、そして南北を駿東郡清水町と裾野市に接しています。東海道新幹線三島駅や東名高速道路沼津インターチェンシに至近の地であり、東京まで約100km、県都である静岡市まで約60kmの地点にある、南北に細長い紡錘形をした面積26・51㎢と県下で3番目に小さな町です。

北に霊峰富士を仰ぎ、東に箱根連山を眺め、温暖な静岡県内でも特に降雪が少なく、穏やかな気候の地でもあります。このような人が住みやすい地であることを裏づけるように、町内各所から旧石器時代から弥生時代にわたる遺跡が発掘されています。

明治22年、10か村が合併し長泉村が誕生しましたが、当時の人口は3,962人で、世帯数は655戸を数えるに過ぎませんでした。その後、合併することなく昭和35年に町制を施行し、そして、今年4月1日、明治22年当時の区域のまま、人口40,956人(5月1日現在)の県下一の人口規模の町として、町制施行50周年を迎えたところです。

フォーラム

企業誘致と町の発展

当地には、昭和10年代の後半までに製紙、製薬等の大きな規模の工場が創業をしておりますが、当時はまだ、サツマイモを代表的な作物として栽培する農業が中心の町に一大転機が訪れたのは、昭和31年に決まった大手繊維関連企業の進出からでした。

工場の主体部分の土地として旧軍用地跡地が国有地としてあったことが有利に働きましたが、当地が、冬期もほとんど降雪のない温暖地であること、富士の雪解け水を水源とする大量の地下水が容易に得られ、しかも、その水が水温、水質ともに工業用水としても最適と折り紙がつけられている良質の水であることなども評価されました。また、東京、横浜、名古屋に近く、原材料、製品輸送面においても三島駅に近く、その接続も容易な立地条件も当地への進出が決定された要因でした。

そして、昭和44年(1969年)に新幹線三島駅が開業し、隣接地である長泉町にとって新たな南玄関口となり、その後の町の発展に大きな追い風となったことは言うまでもありません。

これらの企業誘致により、町の税収は増大しました。さらに業種の異なる企業誘致を推進したため、景気

の変動に左右されにくい足腰の強い町として、昭和58年から現在まで連続して不交付団体であることや、平成20年度決算でみると、経常収支比率が70%、公債費比率が5・9%と財政の健全性を見ることが出来ます。

以後も大規模工場の誘致を展開する一方で、当町では、町民有志の協力のもと、「スポーツを通じた健康で明るい住みよいまちづくり」を目指しています。ここで、企業の従業員として全国から集まってきた新たな住民が、スポーツの普及に大変大きな力となり、また新旧住民の交流によって、文化・風習なども幅広くなったと言われ、当町の特徴の一つである新旧住民の隔てない良好なコミュニティ形成につながっています。

人口増加の要因

2010年3月に発表された土地の公示価格では、全国総下落という中、地下鉄駅ができた名古屋市緑区の5地点と当町の2地点の7地点のみが上昇したという発表がありました。何て読むかもわからない「長泉町」という町がなぜ？合計特殊出生率も上がっている、子育て支援策が評判だとか：ということ、新聞、テレビ、雑誌と取材の嵐でした。

しかし、土地の購入や転居先として当町を評価していただけるように

なった要因は、子育てなどの分野の政策の充実によるものだけとは考えておりません。

前述の東海道新幹線三島駅は、三島市と当町の境界部にあり、当町の中心部からは車で10分とかかりません。三島駅から品川駅まで46分、通勤時間帯である6時から8時台の東京行きは12本あるなか、内6本が三島駅始発です。まさに首都圏への通勤圏であり、必ず座れる新幹線で新聞を読みながらの通勤を選択し、近年、東京都や神奈川県からの転入者も多くなっています。

平成14年に当町内に静岡県立静岡がんセンターが開院しましたが、ここのアクセス整備を確保するため、JR御殿場線への新駅設置や、これまで遅れていた町内の幹線道路網の整備などが促進されました。

そして、恵まれた財政力を背景にした福祉や教育施策への対応など、これらすべての相乗効果により、県内外の方々から転居先の選択に際し、当町を選択肢としていただけたようになったと理解しています。

住民目線の「子育て支援」

少子化、人口減少という社会の大きな流れの中にあって、当町は、合計特殊出生率も国・県平均を大きく上回っています。「出生率が上がったのは雇用機会や交通の便に恵まれたことが大きい、上昇が長期で続いていることは子育て支援策の効果である」と、人口問題を研究する機関の方からお話をいただいたことがあります。

その子育て支援策ですが、当町では、これまでナンバーワンやオンラインワンを目指す政策を打ち出してきたものではありません。今必要なことをやれる範囲でスピード感を持って進めてきた結果です。

昨年4月から始めた医療費の中学生3年生までの入院・通院ともの自己負担なしでの無料化が、子育て世帯に評価を頂いております。これは県内でも3自治体で実施しており、現在では、珍しくありませんが、当町では、昭和48年から3歳未満の無料化を始め、平成14年から就学前、平

成14年から始めた医療費の中学生3年生までの入院・通院ともの自己負担なしでの無料化が、子育て世帯に評価を頂いております。これは県内でも3自治体で実施しており、現在では、珍しくありませんが、当町では、昭和48年から3歳未満の無料化を始め、平成14年から就学前、平

・合計特殊出生率

	平成20年	平成19年
長泉町	1.84	1.78
国	1.37	1.34
静岡県	1.44	1.44

・合計特殊出生率の推移

	平成15年～平成19年
長泉町	1.70
国	1.31
静岡県	1.44

フォーラム

▷保育園に併設されている子育て支援センター「みかんちゃん」。他にも「アップル」と「ちえりーぶらっさむ」があります。



成19年から小学3年生までと拡大してきました。

就園前の子とその保護者が対象の子育て支援センターは、現在の自治体にもありますが、当町では、平成11年に第1号を開設しています。結婚してから当町に転居して出産するなど周囲に知人、友人などがない母親に、常駐の保育士による子育てのアドバイスや、子育て仲間ができるなど利用者に好評であったことから、現在町内に3施設を開設しています。

放課後児童会では、平成19年度末

に次年度の希望をとったところ、多くの待機が発生する状況がわかり、予備費を投入して2箇所プレハブの施設を建てて4月からの受け入れに対応し、2カ年かけて恒久的な施設を整備してきました。

また、人口の増加に伴い、町内に3つある小学校の2校で教室が不足することが予想されたことから、昨年度、2つの小学校で6教室ずつ校舎を増築しました。

しかし、様々な需要に対し、すべて新たな施設を作るなどして対応できている訳ではありません。当町で



▷働いているお母さんたちにも安心して預けられる「放課後児童会」。

▷2つの小学校で、6教室ずつ校舎を増設(上)長泉小学校(下)南小学校。



も、幼稚園に比べ預かり時間の長い保育園への入園希望が多い状況ですが、この状況がいつまで続くかわからないなか、新たな保育園設置には踏み切れません。そこで、この4月から幼稚園の保育時間を希望により1時間延長し、また、認可外保育施設の利用者に対し、町で定める保育料との差額を補助するなどの制度を今年度から実施しています。

また、少子化のなか、たくさん子どもを産みたいが経済的に大変という声を聞き、出生順位で第3子以降を対象として公立幼稚園、保育園の保育料等を無償化するとともに、私立に対しては公立の料金を上限に助成をしています。

教育現場の充実

保護者に対してこのような支援をする一方で、子どもに対しては教育現場への支援員の配置などにより、学校と連携を図った取組みを進めています。

小学校には、小学1・2年生のすべての教室に、学校における生活、学習の基本的な習慣等について担任を補佐する小学1・2年生支援員を配置している他、義務教育において重要な学年である3・4年生では、算数や国語などの授業をクラスを分けて少人数で授業をするための少人数指導員の配置、背筋を伸ばし授業

フォーラム

▷小学校1・2年生を対象にした書道教室 背筋を伸ばし授業に集中する態度を身につけます。



へ集中する態度を養うことを目的に1・2年生で書道科の授業を導入しています。また、全小中学校に特別支援教育の補助員や図書館に教員以外の図書館補助司書なども配置しており、教員や保護者からも高い評価を頂いております。

また、平成12年に行った行政改革の取り組みで、これまで町長部局が所管してきた児童福祉に関する業務を教育委員会に置き、保護者の立場に立った「出生から中学卒業までの窓口の一本化」を目指した「こども育成課」を設置しました。当時とし

ては斬新なものでしたが、10年を経た現在、当初意図した「住民の利便性」から、行政内部での「子育て課題の共有化」や、「人材の有効活用」、「幼保・小・中学校との連携」、「施設整備の計画的な推進」などで成果が見られております。

地域の力を子育てに

しかし、子育てにおいて行政がやることには限界がありますし、地域全体の関わりの中で子どもを見守り、育てていくことが本来の姿であると考えます。当町でも、大変多くのボランティアの方々が、子育てに関わってくれています。

乳幼児を抱える世代が対象の事業において、子育て経験の豊富なボランティアによる託児サービスを始め、生涯学習の分野で小・中学生を対象とした事業での関わりが目を引きます。

その中でも特記されるものとして、「放課後子ども教室推進事業（通称…のびのびスマイル）」や「長泉町少年少女サークル（通称…はぴはぴサークル）」があります。

外遊びの機会が減少し異学年交流の機会も減少していることもあり、毎週水曜日に3小学校を会場に実施される放課後子ども教室を楽しみにしている児童は多く、保護者から好

評を得ています。

また、少年少女サークルは、土曜日午前の時間を利用し、小・中学生が多様な体験を通じ、豊かな感性を育んでおり、なぎなた、箏曲尺八、大正琴、ハーモニカ教室などの講座が用意されており、実行委員を務める地域ボランティアとの楽しい時間を過ごしています。

中学校の授業活動として行われる野外教室では、同窓会が中心となり、沢登りや竹炭作りなど様々な体験コースを設定し、子どもたちと会員が一緒になって活動しております。

この他にも学校教育の現場において地域の力を借りることも多々ありますが、最近では、行政主導ではなく、地域で子育て支援をしていく新たなボランティアの動きが見られ、町としても大変心強いものがあります。

おわりに

人口減少、少子高齢化、企業誘致や道路整備に迫られる時代ではない：これが現在の自治体間での共通認識かもしれません。しかし、その地域によって課題はまちまちであり、自治体における施策の優先順位もおおのずと違ってまいります。住民生活の現場の声に耳を傾け、必要なこと、できることを、タイムリーに進めていくことの必要性はいつの時

代でも同じと考えます。

平成22年度の予算編成にあたり、町政の基本姿勢を「住民目線の行政の推進」とし、「健康」「環境」「子ども」を重点においた施策を展開してまいりたいと考えております。行政内部では他部署を巻き込んだ「施策の総合化」が、そして地域・住民を巻き込んだ「協働」が、これら重点課題への取り組みの鍵を握るものだと考えています。

子どもの笑顔は、町にとつてかけがえない財産であり、住民の活力の源になるものです。これが絶えないまちづくりにも今後取組んでまいります。

(長泉町長 遠藤日出夫)



△毎月1日に発行する町の広報で、1歳6ヶ月検診にきた子どもたちの写真を掲載しています。

# 町村Navi

## 愛知県幸田町 電動自転車モニター事業を 実施

町は、坂道にも強い電動アシスト自転車  
の貸し出しによるモニター事業を  
実施している。町では、環境にやさしい  
交通体系の実現に向け、町民に鉄道や  
バスのほか、自転車を積極的に利用し  
てもらいたいと考えているが、町内では  
田園地帯以外は坂道が多く、自転車  
利用しづらい状況にあるためである。

モニター対象者は町内在住で自転車  
による通勤を行っている人（駅まで自  
転車利用の人も可）または買い物等日  
常移動に自転車を利用されている人。  
募集人員は100名で、通勤への利用  
者を優先。モニター方法は、電動アシ  
スト自転車を2週間使ってもらい、通  
勤や買い物等の日常移動等に関するア  
ンケートに答えてもらう。

町ではこのほか、7月4日に開催す  
る「自転車交通安全教室」の参加者を  
募集。岡崎警察署の交通安全担当を講  
師に、町民に自転車に関わる交通ル  
ル等を学んでもらう。対象者は町民及  
び電動アシスト自転車モニター申込者  
のうち参加希望者で、定員は20名。

## 兵庫県多可町 役場の通信簿、総合満足度 は3・22点

町は、町民を対象に「住民満足度調

査」を実施したが、このほど調査  
結果をまとめた。それによると、「平  
成21年度の通信簿」は、総合満足度が  
5点満点中、3・22点となった。

調査は満18歳以上の住民から無作為  
抽出した1200人を対象に実施。回  
収数は626で回収率は52・2%だっ  
た。

町に対する総合的な満足度（総合満  
足度）を男女別にみると、女性が3・  
26点、男性が3・17点で女性の方が  
やや高く、年代別では、「70代以上」が3・  
45点で最も高く、「10代・20代」が2・  
83点で最も低い。

また、総合計画・基本計画（34項目）  
における今後の重要度・現状の満足度  
の結果をみると、現状の満足度では、  
「水道と下水道の整備」が3・43点で  
最も高く、今後の重要度では「高齢者  
福祉・障がい者（児）福祉の推進」が  
4・61点で最も高かった。同重要度と  
満足度のギャップをみると、最も  
ギャップが大きいのは「新たな産業と  
雇用の創出」で、回答者全体の平均  
ギャップは2・50ポイントだった。

## 奈良県三宅町 「緑のカーテン」の必要経費 を助成

町は今年度から、地球温暖化対策と  
して、建築物の壁面に関する植物の植  
栽を行う住民らの植物の購入費などを  
助成する「緑のカーテン事業」を実施

する。2000件の助成を見込んで当初  
予算に100万円を計上した。

緑のカーテンは、日当たりのいい窓  
の外等をゴーヤやアサガオ、ヘチマな  
どのつる性植物で覆うことで、①建物  
への日差しを遮る②葉から出る水蒸気  
で涼しい風を呼び込み、冷房の使用を  
抑制する③地球温暖化を防止する  
効果が得られる。植え方や環境によっ  
ては、植えた場合と植えていない場合  
で約10度の室温差になる効果もあると  
いう。町では昨年度、職員提案により庁  
舎や公民館などの壁面緑化を実施した。

助成は、日の当たる壁面に関する性の  
植物を育てて新たな緑化に取り組もう  
とする町民が対象。種子や苗、つるを  
絡ませる支柱など栽培に必要な資材等  
の購入費の半額（上限5000円）を  
助成する。町によると、6月16日現在  
で約80人から申請があるという。

## 大分県九重町 子宮頸がん予防ワクチン接 種全額助成

町は、大分県内初となる子宮頸がん  
ワクチン接種の全額公費負担を6月議  
会で決定した。

子宮頸がんは、子宮頸部（子宮の入り  
口）にできるがんで、20代から30代  
で急増。ほとんど自覚がないため、発  
見が遅れがち。ほぼ100%ヒトパピ  
ローマウイルス（HPV）によること  
が解明されており、その多くは性交渉

によって感染すると考えられている。

学校を通して、生徒や保護者に説明  
会等を実施しながら、町内医療機関を  
中心に接種するよう呼びかけていく。

対象となるのは、町内の4中学校に  
通う女子生徒147人。ワクチンは、  
3回接種が必要で、費用は約5万円、  
735万円を予算計上している。

町は、子宮頸がんの予防が、健康保  
持増進や母体保護による少子化対策に  
繋がるものと期待している。

## 宮崎県西米良村 村外で学ぶ高校生に月3万 円の手当

村は、今年度から村外で学ぶ高校生  
を抱える世帯に毎月3万円の支援手当  
の支給を始めた。

村には高校がないため、村内の中学  
校を卒業した生徒は近隣市等の高校に  
進学するが、村からは距離があるため  
全員が寮や下宿をよぎなくされている。  
このため、高校生を抱える世帯の  
経済負担の軽減などを目的に高等学校  
等就学支援手当を支給することにした  
もの。月額3万円は、県立高校の寮の  
家賃を参考とした。今年度は、22世帯  
の生徒23人が対象となる。予算総額は  
828万円。

このほか、村では今年度から全中学  
生を対象に子宮頸がんの予防接種の全  
額補助も始めた。対象は11人で、県内  
では初の助成となる。

## 情 報

## 姉妹・友好提携を希望している海外の地方団体の紹介

## アフリカ編

(財)自治体国際化協会提供

## ▶姉妹交流提携の御案内 世界が注目するアフリカ

前回の中国に続き、今回は6月のワールドカップで盛り上がりを見せているアフリカを紹介します。  
アフリカ諸国は英語やフランス語が共通語や公用語です！今回は特にエチオピアとガーナの御紹介です。  
最初的一步として、スポーツや文化などそれぞれの自治体の得意分野で交流を始めませんか？  
カメルーンやウガンダからの希望も寄せられていますので、詳しくは当協会HPをご覧ください。

## ▶エチオピアはどんな国

人類発祥の地、約350万年前の人間の化石（ルーシー）が1974年に発見されました。  
コーヒー発祥の地で、お茶の作法のようなコーヒーセレモニーがあります。  
東京オリンピックにおけるアベベなどマラソン選手が輩出しています。  
在日の大使が日本との交流に熱心で日本の各自治体を回り、エチオピアの魅力を伝えてます。

## ▶ガーナ共和国はどんな国

金など鉱産物に恵まれ、カカオなどとともに輸出産業となっています。  
首都アクラは野口英世博士が黄熱病の研究をしたことで有名です。  
今回のワールドカップでアフリカで唯一決勝トーナメントに進出しました。

## ▶姉妹提携の意義

アフリカは、膨大な資源を背景に、この10年のGDPの平均が5.3%（週間「東洋経済」2010/1/9号）と高い成長率を示すなど、中国・インドに次ぐ成長市場で将来の発展が見込まれます。

国際社会においても、エチオピアのメレス首相が、昨年12月の環境COP15で地球温暖化の被害に対する適切な支援について世界に発信するなど影響力を強めています。

アフリカのマラウイからの農業研修員を受入れた北海道滝川市では、これをきっかけに国際技術研修都市として市民の自信と元気につながっているとのことです。



詳細は、当協会HP：[http://www.clair.or.jp/j/simai/kibou/kibou\\_k.html](http://www.clair.or.jp/j/simai/kibou/kibou_k.html) をご覧いただくか  
当協会交流支援部交流親善課 秋山 木林：TEL：03-5213-1723 にお尋ねください。

情 報

新任都道府県町村会長の略歴

沖縄県町村会は平成22年2月25日の第158回定期総会で次の通り会長を選出した。(4月1日就任)  
沖縄県南風原町長  
島尻郡南風原町長

城間 俊安

昭和23年3月26日生



◎長野県木島平村発 ◎

農村文明塾第2回農村学講座

『奥山の恵み』7/17(土)～18(日)

農村文明塾主催、第2回農村学講座は、農村文明塾の有識者顧問団でもある信州大学教育学部教授・中村浩志先生を講師に迎え、「奥山の恵み」をテーマに開催します。参加は自由ですでお気軽にお申込み下さい。

1. 日 時

▽7月17日(土) 講演・情報交換会他

○15:00(受付14:30～) 開講式・講演  
講師：中村浩志信州大学教育学部教授

「奥山の自然を考える」

○17:00 下高井農林高校生によるブナのブランド化活動報告

○18:30 中村先生を囲んだ情報交換会(送迎付)

○22:00頃 炎の奇祭・内子の柱松子(はしらまつこ)

▽7月18日(日) 現地研修

○8:30 村役場集合後バスで「カヤの平高原」へ  
・中村先生の「奥山の鳥たち講座」やニコウキスゲ、新緑のブナ林など、この時期ならではのカヤの平を満喫。

・昼食は北信州名物ネマガリダケの味噌汁と木島平米おむすび

○14:00頃 村役場にて解散

2. 場 所

①講演会場 木島平村若者センター  
電話0269-82-2350

②情報交換会 内山の湯  
地元農家経営の湧水を使った湯と郷土料理

③現地研修 カヤの平高原  
ブナの原生林が残る奥山

【集合場所】 木島平村役場

【参加費】 3,000円(情報交換会参加費)

【お申込み】 電話 0269-82-2350  
e-mail bunmei@kijimadaira.jp  
木島平村教育委員会内農村文明塾事務局

【住所】島尻郡南風原町字津嘉山597  
【町村長としての当選回数】4回  
【町村長に就任するまでの経歴】▽津嘉山小学校PTA会長(4期)▽社団法人沖縄県PTA連合会副会長(2期)▽南風原町議会議員(4期)・議長(1期)【町村会関係の経歴】▽沖縄県町村会理事 平成18年4月1日～同年7月26日▽沖縄県町村会副会長 平成18年7月27日～22年3月31日

【主な業績】▽那覇空港自動車道路橋下利用(ドリームテニスコート)が完成▽九州・沖縄サミットでカナダ首相を招待▽黄金森公園野球場・陸上競技場完成▽カナダ国・アルバータ州レスブリッジ市との友好都市締結▽南風原幼稚園舎・南風原小学校校舎・南風原中学校新校舎完成▽イオン南風原

(孫5名)

【趣味】読書・スポーツ

【家族】母・本人・妻・子(一男二女)

何かと面倒な相続手続き、お手伝いいたします。  
**遺産整理業務**  
[わかし愛]  
※遺産整理業務には所定の手数料がかかります。※遺産整理手続き完了時(例)遺産額2億円の場合、遺産整理業務手数料2,887,500円(消費税込み)。(平成17年10月1日現在)  
三菱UFJ信託銀行  
お問い合わせは ☎0120-349-250 ご利用時間/平日・土・日 9:00～17:00(祝日等を除く)(回線がつかない場合は 09 を押してください。)

私たちは資産を守るパートナーです。  
金融資産の運用から、相続対策、遺言、不動産等まで、私たちはお客様のパートナーとして、世代を超えて、お付き合いさせていただいております。  
まずは、お気軽にご相談ください。  
皆さまの来店を、心よりお待ちしております。

資産の話をしませんか。  
信託世代の、住友信託銀行

随 想

随 想

「斜陽」のルーツ

滋賀県町村会長  
愛 莊 町 長 村 西 俊 雄



朝、食堂ですうぶを一さじ、すつと吸ってお母さまが「あつ」とかすかな叫び声をおあげになった。...

これは、太宰治の名作「斜陽」の書き出しである。一九四七(昭和二一)年、太宰治が三八歳のときに発表し、一躍ベストセラーとなつて、その名声と栄光を不動のものとした作品である。

昨年は、太宰治の生誕一〇〇年を多くのマスメディアが取り上げた。その代表作の一つ「ヴィヨンの妻」も松たか子主演で映画化され、生きることの苦悩する弱き夫を愛で包み込む妻を好演した。ラストシーン、ヒロイン佐知がつぶやく原作通りのフレーズ「私たち、生きてさえいたらいいの」が印象的だった。

太宰治の作品は今なお、若い人たちの共感を呼び、多くの人に読まれ

ている。教科書にも採択された「走れメロス」は、誰でも知っている短編だ。私も二〇歳の頃、「人間失格」位は読んでおこつと思ひ、読み始めたのだが「人間失格」から読み始めたのが失敗で「ああ、これが類廃文学か」当時、自殺志向の太宰治が巷間言われていたもう一方の評価に頷いてしまひ最後まで読み切らなかつた記憶がある。

「恋しい人の子を生み、育てることか私の道徳革命の完成なのでございます」と「斜陽」のヒロインかず子は、望みどおりに死んでいった愛人との間に、望みどおりに生まれてきた赤ちゃんとともに強く生きることを決意する。

このヒロイン「かず子」のモデルが、当町愛莊町(合併前の愛知川町)出身の太田静子であり愛人は言つてもなく太宰治で、「赤ちゃん」が現在、活躍中の作家、太田治子さんである。太宰がこの子に自分の「治」を採つて「治子」と名付けた。

その太田治子が昨年、朝日新聞から出版した「明るい方へ」の著書で、父と母の実像を詳細にまとめ上げた。

でもなく太宰治で、「赤ちゃん」が現在、活躍中の作家、太田治子さんである。太宰がこの子に自分の「治」を採つて「治子」と名付けた。

治子の母、太田静子は、中山道の宿場町、滋賀県愛知川で父が開業していた太田守医院の娘として生まれ、地元的高等女学校を卒業後上京し、文学を目指した人である。

彼女は、伊豆の山荘で太宰と近江や京都の思い出を語りつつ結ばれるのだが、太宰亡き後、郷里、近江に里帰りも適わず、いつも、愛知川のことを娘治子に語っていたという。

名作「斜陽」は、太宰が伊豆下曾の太田静子に書かせた日記を下に書かれ、その多くが引用されているのである。太宰が稀有の天才でも男性が繊細な女性心理をあれだけ自然に表現することは困難だという評を読んだことがある。

昨年十二月、残念ながら「斜陽」の舞台となったこの山荘は不審火により全焼してしまつた。

太田静子が訪ねた太宰治、終焉の地、三鷹を昨年秋、「斜陽」への旅として私も訪ね歩いた。

太宰治と妻美知子が子達と住んだ百日紅の木が残っている本宅跡、「斜陽」を書いた小料理屋千種、「人間失格」や遺作「グッドバイ」を書いた太宰最後の愛人山崎富江の住まい跡、玉川上水に富江と入水の前後、彼女がうなぎの肝を買つたうなぎ屋跡、富江と堅く帯で結び合い、履物を揃え、入水した玉川の現場、森鴉外の墓と向かい合わせに太宰治の墓がある禅林寺、そして駅前にある太宰治資料館など太宰も下駄履きで歩いたであろう距離感を実感しながら、遠く近江愛知川の点と線をつ結び、これらのゆかりの地を歩いた。

ことし五月、静子の生誕地が当町という縁で、太田治子さんを文化行事の講師に招聘し、講演会を開催した。

彼女は、NHKのテレビヤラジオでさわやかなトークを展開されていることもあり、各地から多くのファンが集まり、母静子さんのゆかりの人達も相集い、「斜陽」の主人公誕生の秘話に花が咲いた。

今年の夏は、ふたつのサマー。



1等・前後賞合わせて3億円

サマー  
ジャンボ

1等 2億円 前後賞 各5千万円 2等 1億円



新登場!

同時発売  
1000万サマー

1000万  
サマー

1等 1千万円 × 600本

2010年市町村振興宝くじ

7月7日(水)発売

発売期間:7月7日(水)~7月30日(金)  
抽せん日:8月10日(火)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。(財)全国市町村振興協会/全国市長会/全国町村会/全国市議会議長会/全国町村議会議長会